

湯浅伝建地区保存協議会視察研修in龍野

地元住民が主催する町並みイベントを視察

11月23日(土)に湯浅伝建地区保存協議会が淡口醤油の発祥地として有名な兵庫県たつの市で開催されている『オータムフェスティバルin龍野』を視察しました。このイベントは今年度で第11回を数え、地元住民で組織された実行委員会が中心となり開催されています。今年度は11月22日(金)から11月24日(日)までの期間で約130箇所、260ものイベントが行われました。フェスティバル期間は、普段は一般公開されていない龍野地区の伝統的な建物や個人の住宅が展示会場やライブ会場、食べ物などの販売所として公開活用されています。

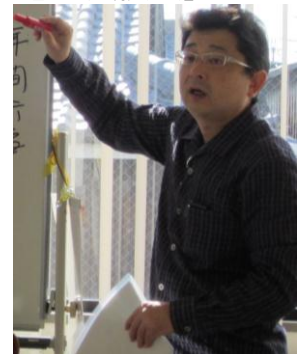
視察研修は初めに『龍野区中央公民館2階会議室』でオータムフェスティバルin龍野実行委員会の長坂会長にフェスティバルの概要および活動内容について説明していただき、続いて、視察研修に参加した

委員と意見交換を行いました。意見交換会では、地元住民を主体に行うまちづくりを湯浅伝建地区にも活かそうと積極的な姿勢で学んでいました。その後、参加者は個々にフェスティバルの様子を視察しました。フェスティバルは、地元住民や訪れた観光客で活気に溢れ、龍野の伝統ある町並みをより引き立てていました。

湯浅伝建地区でも我々地元住民が主体となりイベントを行う際は、今回の視察研修で得た知識を活かして、住民が一丸となり活性化のために取り組みたいです。



【長坂会長との意見交換会】



【長坂会長】



【観光客で活気に満ちた龍野の町並み】



【地元の学生による絵本の読み聞かせ】



【販売所にも長蛇の列】

～町並み視察・意見交換会を終えて～

- 龍野で古い本を集めた本屋があった。その店主が嬉しそうに自分の家の歴史について話してくれた。そこで感じたのは、住民が町を紹介したいという思いが感じられた。湯浅でもイベントを開催する上で住民が楽しんで行うことが継続させるコツだと感じた。【木下】
- オータムフェスティバル in 龍野は活気があり、とても賑わっていた。湯浅でもイベントを開催するには、住民が生活しながらどれだけ協力できるかが課題だと思う。【太田】
- イベントを開催する上での活動方法を学べたので良かった。何をするのでも初めは大変だが継続することが町の活性化には不可欠だと思う。湯浅伝建地区も小さなイベントを継続して、将来大きなイベントを開催し、町の活性化につなげたい。【半邊】
- 商品の値段設定が丁度良かった。湯浅でも観光客がきた際に食事をとれるところがほしいと思った。【三橋】
- オータムフェスティバル in 龍野の活気に驚いた。伝建地区選定という目標があるので、取り組みに活気があるのだと思った。【上野山】
- 町がとても賑わっていた。湯浅伝建地区でもすぐにイベントを開催するのは難しいが、行政に負担をかけるのではなく、住民が盛り上げてイベントを開催したいと思った。【楠山】
- 湯浅でも町民が知恵を出し合えばイベントを開催できると思った。【蔵野】
- 長坂会長がおっしゃった「人と人とのつながりが大切だ」という言葉が印象に残っている。少ない予算でも工夫してやれば湯浅でもイベントを開催できると思う。龍野に負けない湯浅にしていきたいし、できると思う。【見矢】
- 意見交換会では、湯浅でも参考になる話が聞けて良かった。特に「まちづくりには女性パワーが必要だ」という言葉が印象に残っている。私も「女性パワー」をだして頑張りたいと思った。【上野敏代】
- 町中で多くの人が集るのはなぜかと考えた。視察してみて、イベントの仕掛けが上手いと思った。湯浅でも住民が個々に責任を持ってまちづくりに取り組みたいと感じた。【新網】
- 視察して若い人の多さに驚いた。体験事業を色々していたので参考になった。【若狭】
- フリーマーケットを出店している人の年齢層が若くて活気があった。【陣座】
- 人と人とのつながりができていると感じた。視察で感じた良い所は湯浅のまちづくりにも活かしていきたい。【湊井】
- ヒガシマルの醤油資料館で紙袋を作った。湯浅でも物作りをしてもらい思い出をつくってもらえば良いと思った。【木下万貴】
- ヒガシマルの醤油資料館には道具が豊富に残っていた。湯浅も歴史ある湯浅醤油を世界へ宣伝する気持ちで取り組むことが大切だと思った。私も文化財保護審議委員をしているので湯浅の町全てが文化財だという気持ちで取り組んでいきたいと思う。【戎 文化財保護審議委員長】
- 湯浅でもフリーマーケットはできると思った。定期的にイベントを開催し、継続することが大切だと思った。【和泉 文化財保護審議委員】
- 湯浅には伝建地区があるので、そこをまちづくりに活かせるよう地元住民に立ち上がってもらいと思った。【根来 文化財保護審議委員】
- 龍野にはスケールの大きさに負けた。湯浅ももう少し住民にも協力してもらい、より良い湯浅をつくっていききたい。甚風呂では、観光客にまた来てもらえるようにと少ない時間の中で少しでも多くのことを伝えるように案内している。今日の研修を活かしてこれからの案内に精進したいと思う。【間所 甚風呂スタッフ】